

平成25年3月期

決算説明会 データブック

2013年5月30日

シダックス株式会社

(JASDAQ スタンダード : 4837)

I. 平成25年3月期 決算トピックス 連結経営成績

[短信 サマリー及び【添付資料】2～3ページ記載]

我が国経済は、東日本大震災の復興需要や12月の新政権交代以降、経済対策への期待から円安の進行、株価の上昇により、日本経済に回復の兆しがみられるものの、不安定な国際情勢や、原油価格・原材料の上昇といった影響等により、先行きは不透明な状況にあり、また将来への不安を背景とする消費者の低価格・節約志向が依然として続いており、企業を取り巻く環境は厳しいものがあります。このような中、当社グループでは、総合力を活かした新規営業開発、テレビCMの放映や各種キャンペーン企画等の実施による売上維持拡大戦略を行うとともに、一元物流食材への切替え促進や店舗運営経費等のコストコントロールを一層強化し、安定的な収益を確保できる経営基盤の強化に努めてまいりました。

■ 平成25年3月期 連結業績ハイライト

(単位: 百万円)

	平成24年3月期				平成25年3月期				平成25年3月期			
	第2四半期累計(実績)		通期(実績)		第2四半期累計(実績)		通期(実績)		前期比		平成25年3月期	
	構成比	構成比	構成比	構成比	構成比	構成比	増減額	増減率	期初予想	差額		
売上高	92,998	100.0%	188,244	100.0%	92,142	100.0%	186,185	100.0%	△ 2,059	△ 1.1%	195,000	△ 8,814
売上原価	80,642	86.7%	161,597	85.8%	80,032	86.9%	160,651	86.3%	△ 946	△ 0.6%	—	—
売上総利益	12,355	13.3%	26,646	14.2%	12,109	13.1%	25,533	13.7%	△ 1,113	△ 4.2%	—	—
販売費及び一般管理費	10,194	11.0%	20,756	11.0%	10,099	11.0%	20,397	11.0%	△ 358	△ 1.7%	—	—
営業利益	2,161	2.3%	5,890	3.1%	2,009	2.2%	5,135	2.8%	△ 754	△ 12.8%	7,000	△ 1,864
営業外収益	305	0.3%	468	0.2%	431	0.5%	1,367	0.7%	898	192.0%	—	—
営業外費用	865	0.9%	1,505	0.8%	561	0.6%	1,249	0.7%	△ 255	△ 17.0%	—	—
経常利益	1,601	1.7%	4,853	2.6%	1,879	2.0%	5,253	2.8%	399	8.2%	6,000	△ 746
特別利益	48	0.1%	48	0.0%	14	0.0%	135	0.1%	86	176.8%	—	—
特別損失	210	0.2%	528	0.3%	5	0.0%	553	0.3%	24	4.6%	—	—
当期純利益	220	0.2%	781	0.4%	732	0.8%	2,658	1.4%	1,877	240.3%	1,000	1,658
総資産	97,371	—	89,679	—	90,186	—	94,284	—	4,604	—	—	—
純資産	19,934	—	20,445	—	20,135	—	25,335	—	4,899	—	—	—
自己資本	19,843	—	20,351	—	20,039	—	25,218	—	4,867	—	—	—
自己資本比率	20.4%	—	22.7%	—	22.2%	—	26.7%	—	4.0%	—	—	—
ROE(自己資本当期利益率)	1.1%	—	3.8%	—	3.7%	—	11.7%	—	7.9%	—	—	—
ROA(総資産経常利益率)	1.6%	—	5.2%	—	2.1%	—	5.7%	—	0.5%	—	—	—

(注)【ROE】=四半期(当期)純利益/自己資本合計(当年度(第2四半期)末・前年度末の平均値)×100(%)、【ROA】=経常利益/総資産合計(当年度(第2四半期)末・前年度末の平均値)×100(%)

【売上高】1,861.8億円(期初予想対比△4.5%)

□ コントラクト・メディカルフードサービス事業・・・長引く経済情勢の悪化により受託先企業・病院施設のコスト削減に伴う契約内容の見直しや解約等の影響を受けたことにより、期初予想を26.9億円下回る。

□ レストランカラオケ事業・・・長引く経済環境の悪化に伴う消費者の低価格・節約志向が依然として続く中、多様化する消費者ニーズを反映させた様々なキャンペーン企画等による売上維持拡大戦略を実施したが、ロンドンオリンピックや猛暑、集中豪雨等の不安定な天候が続くなど外部環境の影響もあり、期初予想を37.9億円下回る。

□ トータルアウトソーシング事業・・・同業他社との競争が激化する中で地方自治体における予算削減や民間企業におけるコスト削減・解約等の影響を受け期初予想を10.8億円下回る。

【営業利益】51.3億円(期初予想対比△26.6%)

【経常利益】52.5億円(期初予想対比△12.4%)

□ スペシャルティールレストラン事業において、米国市場のケータリング、年末ホリデーシーズンの宴会受注が好調で期初予想を上回って推移したほか、各事業セグメントにおいて、固定費の削減を中心としたより一層の原価低減に努めてまいりましたが、売上高の減少を補うまでには至らず、営業利益で18.6億円、経常利益で7.4億円期初予想を下回る。

【当期純利益】26.5億円(期初予想対比+165.8%)

□ 主に在米子会社の業績回復に伴い、繰延税金資産を計上したことにより税金費用が減少し期初予想を16.5億円上回る。

Ⅱ. セグメント別業績の増減説明

[短信【添付資料】2～3ページ及び31～36ページ記載]

■ セグメント別業績

(単位:百万円)

売上高	24年3月期	25年3月期	増減額	増減率
エスロジックス事業	45,402	42,887	△ 2,514	△5.5%
コントラクトフードサービス事業	30,934	31,001	66	0.2%
メディカルフードサービス事業	37,334	36,021	△ 1,312	△3.5%
レストランカラオケ事業	48,146	45,243	△ 2,903	△6.0%
スペシャリティールレストラン事業	17,944	18,680	735	4.1%
コンビニエンス中食事業	14,003	14,487	484	3.5%
トータルアウトソーシング事業	36,345	37,554	1,209	3.3%
その他	4,884	4,467	△ 417	△8.5%
消去及び全社	△ 46,751	△ 44,159	2,591	5.5%
売上高 計	188,244	186,185	△ 2,059	△1.1%

(単位:百万円)

セグメント利益	24年3月期	利益率	25年3月期	利益率	増減額	増減率
エスロジックス事業	4,262	9.4%	3,742	8.7%	△ 519	△12.2%
コントラクトフードサービス事業	1,747	5.6%	1,790	5.8%	42	2.5%
メディカルフードサービス事業	1,377	3.7%	1,225	3.4%	△ 152	△11.1%
レストランカラオケ事業	2,430	5.0%	2,259	5.0%	△ 170	△7.0%
スペシャリティールレストラン事業	△ 129	△0.7%	191	1.0%	321	248.0%
コンビニエンス中食事業	419	3.0%	413	2.9%	△ 6	△1.5%
トータルアウトソーシング事業	1,909	5.3%	1,757	4.7%	△ 152	△8.0%
その他	268	5.5%	53	1.2%	△ 215	△80.2%
消去及び全社≒HQコスト	△ 6,394	—	△ 6,298	—	96	1.5%
営業利益	5,890	3.1%	5,135	2.8%	△ 754	△12.8%

□ エスロジックス事業は、コントラクト・メディカルフードサービス事業及びレストランカラオケ事業の売上高減少の影響を受け、セグメント利益は37.4億円(前期比12.2%減)となりました。

□ コントラクトフードサービス事業は、受託先企業の契約内容の見直し等の影響がありましたが、新規店舗の受託や運営管理区分の見直し等もあり、売上高は310.0億円(前期比0.2%増)、セグメント利益は店舗労務費の適正化により17.9億円(前期比2.5%増)となりました。

□ メディカルフードサービス事業は、病院施設などの経営環境が依然厳しい状況の中、同業他社との競争激化に加え契約内容の見直し等の影響により、売上高は360.2億円(前期比3.5%減)、セグメント利益は12.2億円(前期比11.1%減)となりました。

□ レストランカラオケ事業は、消費者の低価格・節約志向が依然として続く中、テレビCMや様々なキャンペーン企画等の実施により集客及び顧客満足度向上に努めましたが、ロンドンオリンピックや猛暑、集中豪雨等の不安定な天候が続くなど外部環境の影響もあり、売上高は452.4億円(前期比6.0%減)、セグメント利益は22.5億円(前期比7.0%減)となりました。

□ スペシャリティールレストラン事業は、特に北米市場においてケータリング事業の強化、季節メニューイベントの実施により集客力アップを図るとともに、不採算店舗の撤退やコスト管理の徹底を図った結果、売上高は186.8億円(前期比4.1%増)、セグメント利益は1.9億円(前期比248.0%増)となりました。

□ コンビニエンス中食事業は、病院施設などの経営環境が厳しい中、大手コンビニエンスストアや多業態からの攻勢などにより厳しい経営環境にありますが、新規店舗を27店獲得するとともに、店舗外の売上獲得強化策や労務費、経費の徹底管理による収益性の向上に努めた結果、売上高は144.8億円(前期比3.5%増)、セグメント利益は4.1億円(前期比1.5%減)と前期水準を維持しました。

□ トータルアウトソーシング事業は、車両運行管理業務においては地方自治体の財政縮減や民間企業のコスト削減等による契約単価下落の影響もあり売上高微減となりましたが、社会サービス業務においては地方公共団体から幅広く指定管理者として施設管理・運営を受託した結果、売上高は375.5億円(前期比3.3%増)となりました。利益面においては、民間における解約・値引き要請等の影響により、セグメント利益は17.5億円(前期比8.0%減)となりました。

Ⅲ. 連結貸借対照表の増減説明

[短信【添付資料】6ページ及び15～16ページ記載]

■ 連結貸借対照表

(単位:百万円)

	24年3月期	25年3月期	増減額
現金及び預金	9,255	12,021	2,766
売上債権	12,938	12,751	△ 186
その他流動資産	5,917	6,948	1,030
有形固定資産	27,055	28,268	1,213
のれん	10,124	9,736	△ 388
敷金及び保証金	10,968	9,869	△ 1,098
その他固定資産・投資等	13,419	14,686	1,267
資産計	89,679	94,284	4,604

(単位:百万円)

	24年3月期	25年3月期	増減額
仕入債務	8,027	8,449	421
借入金・社債(短期・長期)	34,828	31,361	△ 3,466
リース債務(短期・長期)	4,673	5,257	583
資産除去債務	3,058	3,091	32
その他負債	18,645	20,789	2,143
負債計	69,233	68,948	△ 284
純資産	20,445	25,335	4,889
自己資本比率	22.7%	26.7%	4.0%

□ 総資産は、前期末に比べ46.0億円増加し942.8億円(前期末比5.1%増)となりました。

流動資産は、現金及び預金が27.6億円及び未収入金が10.1億円増加したことにより、前期末に比べ36.0億円増加し317.2億円となりました。固定資産は、無形固定資産が7.9億円減少した一方、有形固定資産が12.1億円及び投資その他の資産が5.7億円増加したことにより、前期末に比べ9.9億円増加し625.6億円となりました。

□ 負債は、前期末に比べ2.8億円減少し689.4億円(前期末比0.4%減)となりました。

流動負債は、1年内返済予定の長期借入金が16.8億円及び未払法人税等が7.5億円増加したことにより、前期末に比べ、26.8億円増加し421.0億円となりました。固定負債は、社債が8.6億円、リース債務が13.3億円及び長期未払金が14.5億円増加した一方、長期借入金が66.6億円減少したことにより、前期末に比べ29.7億円減少し268.4億円となりました。

□ 純資産は、前期末に比べ48.8億円増加し253.3億円(前期末比23.9%増)となりました。

純資産増加の主因は、利益剰余金が20.9億円及びその他有価証券評価差額金が7.7億円増加したことに加え、第三者割当及び株式交換による自己株式の処分等により資本剰余金が8.5億円増加並びに自己株式が8.5億円減少したことによります。

以上の結果、当期末における自己資本比率は、前期末に比べ4.0ポイント上昇し26.7%となりました。

IV. 連結キャッシュ・フロー計算書の増減及び財政状態の説明

[短信 サマリー及び【添付資料】6～7ページ、21～22ページ記載]

■ 連結キャッシュ・フロー計算書

(単位:百万円)

	24年3月期	25年3月期	増減額
営業活動キャッシュ・フロー	13,416	10,104	△ 3,312
投資活動キャッシュ・フロー	△ 2,225	△ 1,384	840
財務活動キャッシュ・フロー	△ 10,474	△ 6,036	4,438
換算差額	△ 32	82	115
現金・同等物期末残高	9,023	11,789	2,766

□ 営業活動の結果得られた資金は101.0億円(前期は134.1億円の資金獲得)となりました。

これは主に、法人税等の支払額が18.6億円及び未払消費税等の減少額が3.9億円あった一方、税金等調整前当期純利益が48.3億円、減価償却費が66.2億円、減損損失が5.1億円並びにのれん償却額及び負ののれん償却額が8.1億円あったことによります。

□ 投資活動の結果使用された資金は13.8億円(前期は22.2億円の資金使用)となりました。

これは主に、敷金及び保証金の回収による収入が21.1億円あった一方、有形固定資産の取得による支出が20.8億円、無形固定資産の取得による支出が1.1億円、貸付による支出が1.2億円及び敷金及び保証金の差入による支出が9.8億円あったことによります。

□ 財務活動の結果使用された資金は60.3億円(前期は104.7億円の資金使用)となりました。

これは主に、長期借入れによる収入が73.2億円、社債の発行による収入が17.5億円及び自己株式の売却による収入が19.9億円あった一方、長期借入金の返済による支出が125.2億円、社債の償還による支出が6.3億円、リース債務の返済による支出が31.6億円、配当金の支払額が5.6億円並びに自己株式の取得による支出が5.1億円あったことによります。

以上の結果、当期末における「現金及び現金同等物」は、前期末に比べ27.6億円増加し117.8億円(前期末比30.7%増)となりました。

■ キャッシュ・フロー指標の推移

	23年3月期	24年3月期	25年3月期
自己資本比率(%)	21.1	22.7	26.7
時価ベースの自己資本比率(%)	12.1	15.0	21.0
キャッシュ・フロー対有利子負債比率(%)	546.9	294.4	380.9
インタレスト・カバレッジ・レシオ(倍)	7.1	12.1	11.5

■ 有利子負債等残高の推移

(単位:百万円)

	23年3月期	24年3月期	25年3月期	増減額
借入金・社債	40,784	34,828	31,361	△ 3,466
リース債務	7,989	4,673	5,257	583
割賦未払金	—	—	1,865	1,865
未経過リース料期末残高相当額(注)	4,869	4,357	1,427	△ 2,929
合計	53,643	43,859	39,911	△ 3,947

(注) 不動産リース取引は除く

V. 平成26年3月期の通期連結業績予想

[短信 サマリー 及び【添付資料】4～5ページ記載]

■ 次期の見通し

当社グループは、「食」を中心とした水平垂直統合型グループ構造の推進により経営効率化を図り、「食」のフィールド拡大と車両運行管理から社会サービスなど様々な業務の受託拡大を図るため、営業体制の強化を行うとともに、社会問題解決型企業として環境・食料・地域の問題に対しても取り組んでまいります。

次期業績予想は、連結売上高1,920億円、連結営業利益60億円、連結経常利益53億円、連結当期純利益20億円を見込んでおります。

(単位:百万円)

	25年3月期 実績	26年3月期 予想	増減額	増減率
売上高	186,185	192,000	5,814	3.1%
営業利益	5,135	6,000	864	16.8%
経常利益	5,253	5,300	46	0.9%
当期純利益	2,658	2,000	△ 658	△24.8%

VI. セグメント別店舗数推移表

23年3月期		期首	4月	5月	6月	7月	8月	9月	第2四半期末	10月	11月	12月	1月	2月	3月	期末
コトラク	増加		30	6	1	3	3	5	48	3	2	2	2	3	4	64
	減少		6	2	5	10	6	7	36	2	2	7	0	3	65	115
	残	1,375	1,399	1,403	1,399	1,392	1,389	1,387	1,387	1,388	1,388	1,383	1,385	1,385	1,324	1,324
メディカル	増加		38	5	4	3	3	3	56	6	3	3	1	0	2	71
	減少		4	1	3	6	2	7	23	9	5	2	4	3	34	80
	残	865	899	903	904	901	902	898	898	895	893	894	891	888	856	856
レストランカオケ	増加		0	0	0	0	1	0	1	1	0	0	0	0	0	2
	減少		0	1	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	1	2
	残	302	302	301	301	301	302	302	302	303	303	303	303	303	302	302
車両管理台数	増加		275	30	30	40	14	16	405	17	8	18	18	4	15	485
	減少		1,155	25	22	29	25	14	1,270	35	12	20	24	11	13	1,385
	残	4,505	3,625	3,630	3,638	3,649	3,638	3,640	3,640	3,622	3,618	3,616	3,610	3,603	3,605	3,605
社会管理人員	増加		1,040	30	60	17	110	43	1,300	73	71	24	42	25	4	1,539
	減少		680	67	45	33	38	26	889	78	37	30	35	38	28	1,135
	残	6,123	6,483	6,446	6,461	6,445	6,517	6,534	6,534	6,529	6,563	6,557	6,564	6,551	6,527	6,527
コンビニエンス中食	残	351			365			369			377				377	

24年3月期		期首	4月	5月	6月	7月	8月	9月	第2四半期末	10月	11月	12月	1月	2月	3月	期末
コトラク	増加		34	5	0	4	2	2	47	7	2	3	3	2	5	69
	減少		7	1	2	6	13	5	34	2	2	3	0	4	48	93
	残	1,324	1,351	1,355	1,353	1,351	1,340	1,337	1,337	1,342	1,342	1,342	1,345	1,343	1,300	1,300
メディカル	増加		32	2	9	5	0	1	49	3	2	2	4	0	4	64
	減少		3	3	3	3	3	10	25	12	7	1	4	1	45	95
	残	856	885	884	890	892	889	880	880	871	866	867	867	866	825	825
レストランカオケ	増加		0	1	0	0	0	0	1	0	1	0	0	0	0	2
	減少		0	0	1	1	0	0	2	0	0	0	1	0	0	3
	残	302	302	303	302	301	301	301	301	301	302	302	301	301	301	301
車両管理台数	増加		398	35	48	32	26	18	557	41	19	20	12	16	23	688
	減少		483	28	29	21	18	17	596	41	13	13	11	14	707	
	残	3,605	3,520	3,527	3,546	3,557	3,565	3,566	3,566	3,566	3,566	3,573	3,572	3,577	3,586	3,586
社会管理人員	増加		1,149	44	11	87	98	19	1,408	48	25	39	10	26	24	1,580
	減少		739	30	96	62	35	18	980	38	20	30	23	16	32	1,139
	残	6,527	6,937	6,951	6,866	6,891	6,954	6,955	6,955	6,965	6,970	6,979	6,966	6,976	6,968	6,968
コンビニエンス中食	残	377			388			389			392				389	

25年3月期		期首	4月	5月	6月	7月	8月	9月	第2四半期末	10月	11月	12月	1月	2月	3月	期末
コトラク	増加		47	25	3	3	2	8	40	4	4	2	5	3	6	64
	減少		1	4	3	5	10	12	39	1	1	2	4	1	36	84
	残	1,346	1,367	1,365	1,363	1,359	1,351	1,347	1,347	1,350	1,353	1,353	1,354	1,356	1,326	1,326
メディカル	増加		1	32	6	5	4	0	53	19	3	1	0	4	4	84
	減少		47	2	4	0	1	8	16	6	7	1	4	1	41	76
	残	779	809	811	816	821	824	816	816	829	825	825	821	824	787	787
レストランカオケ	増加		0	1	0	0	0	0	1	0	2	0	0	0	0	3
	減少		0	0	1	0	0	0	1	0	0	0	0	1	0	2
	残	301	301	302	301	301	301	301	301	301	303	303	303	302	302	302
車両管理台数	増加		204	20	20	38	18	24	324	19	17	17	43	10	22	452
	減少		234	21	18	34	10	19	336	20	27	20	17	9	13	442
	残	3,586	3,556	3,555	3,557	3,561	3,569	3,574	3,574	3,573	3,563	3,560	3,586	3,587	3,596	3,596
社会管理人員	増加		1,370	47	24	64	200	46	1,751	70	24	39	4	91	46	2,025
	減少		831	37	38	22	19	47	994	29	12	16	22	19	13	1,105
	残	6,968	7,507	7,517	7,503	7,545	7,726	7,725	7,725	7,766	7,778	7,801	7,783	7,855	7,888	7,888
コンビニエンス中食	残	389			395			398			402				398	

レストランカオケ事業 月次売上・客数推移

23年3月期	4月	5月	6月	7月	8月	9月	第2四半期末	10月	11月	12月	1月	2月	3月	期末
売上(千円)	3,784,031	3,929,508	3,368,268	3,976,487	4,466,276	3,738,892	23,263,462	3,765,744	3,426,043	6,214,604	4,544,054	3,275,783	3,341,978	47,831,668
客数(千人)	2,550	2,704	2,395	2,772	3,137	2,622	16,179	2,549	2,259	3,225	2,793	2,223	2,397	31,625

24年3月期	4月	5月	6月	7月	8月	9月	第2四半期末	10月	11月	12月	1月	2月	3月	期末
売上(千円)	3,749,816	3,868,535	3,472,856	4,051,167	4,426,821	3,615,806	23,185,001	3,518,123	3,411,287	6,081,408	4,478,495	3,168,834	4,303,076	48,146,225
客数(千人)	2,460	2,582	2,348	2,707	3,022	2,500	15,618	2,386	2,263	3,129	2,758	2,200	2,912	31,268

25年3月期	4月	5月	6月	7月	8月	9月	第2四半期末	10月	11月	12月	1月	2月	3月	期末
売上(千円)	3,572,283	3,609,291	3,596,864	3,675,231	4,195,466	3,607,434	22,256,568	3,168,636	3,185,633	5,554,985	4,115,444	3,028,296	3,933,531	45,243,094
客数(千人)	2,359	2,456	2,406	2,483	2,812	2,494	15,010	2,201	2,109	2,919	2,598	2,093	2,664	29,594